

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 24日
住 所 飯能市坂石241-3
県内企業等の名称 株式会社金子組
代表者役職 氏名 代表取締役 金子和弘

株式会社金子組 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

株式会社金子組は「暮らしやすく住みよい地域づくり」をテーマに、地域発展と社会貢献を目指し常に新たな技術・工法を積極的に取り入れ、地元に着目した企業として共に成長を続けるため社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、コピー用紙の使用量を削減し、尿素SCRシステム搭載車を増やす。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用量:80,127枚/年 ②尿素SCR搭載車:8%(1台/12台)	<2030年に向けた指標> ①75,000枚(2022年比7%減) ②33%(5台/15台) <取組開始3年後に向けた指標> ①78,000枚(2022年比3%減) ②23%(3台/13台)
社会	地域貢献活動として、地元の祭り等への寄付を継続する。また、市内の小学校にパンダ鉛筆の寄付を継続する。 <(現状値)2022年の数値> ①寄付金額:80,000円/年 ②パンダ鉛筆の寄付数:550ダース/年	<2030年に向けた指標> ①150,000円/年 ②600ダース/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①100,000円/年 ②570ダース/年
経済	有給休暇取得を促進してより働きやすい職場環境を目指す。また、シニア活躍の実践として、高齢者雇用を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ☒ ①有給休暇平均取得日数:10.7日/年 ②高齢者(65歳以上)雇用率:22.7%(5名/22名)	<2030年に向けた指標> ①15日/年 ②28%(7名/25名) <取組開始3年後に向けた指標> ①12日/年 ②26%(6名/23名)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。